

2021年11月17日  
西日本旅客鉄道株式会社

## 車椅子ご利用者の列車乗降支援に向けた取り組み ～可動スロープの開発と検証～

当社は、車椅子をご利用されているお客様がスムーズに乗降いただける環境づくりを目指し、2019年から、ホームと列車の段差と隙間の両方を全自動で可變的に埋める可動スロープ※の開発を進めています。

このたび、様々な検証・改良を重ね、実用を見据えた装置の試作機が完成しました。早ければ数年後の導入を目指し、JR ゆめ咲線 桜島駅において現地検証を行います。なお、列車の到着から出発までの一連の流れに合わせて、自動で段差と隙間の両方を埋める装置は、これまで鉄道事業者で導入された例はなく、完成すると初の事例となります。

※株式会社 JR 西日本テクシア（本社：兵庫県尼崎市）、株式会社小松製作所（本社：長野県松本市）と共同開発

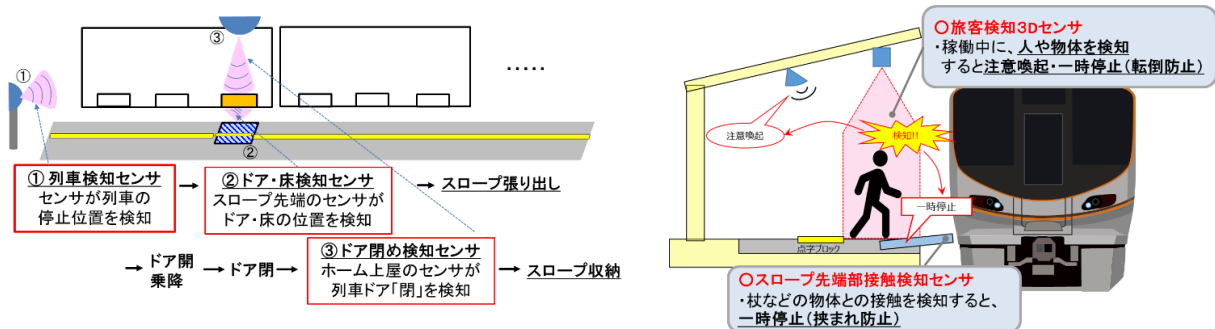
### 1. 装置の仕組みと特徴

#### (1) 可動スロープの動作

- ① 「列車検知センサ」が列車の到着を検知
- ② スロープ先端のセンサが乗降口とホームとの距離を計測し、スロープが自動的に張り出し、段差・隙間を埋める
- ③ 乗降完了後、列車のドアが閉まると、スロープを自動で収納

#### (2) 安全装置

スロープが稼働中に、周囲の人や物体を検知したり、スロープ先端が杖などの物体との接触を検知すると、注意喚起し、スロープの動作を一時停止（転倒防止、挟まれ防止）



◆スロープが自動で張り出し・収納する仕組みの概要

◆安全装置の概要

### 2. 現地検証の概要（JR ゆめ咲線 桜島駅）

期間：2021年11月21日（日）～2022年2月中旬 10:00～15:00

場所：JR ゆめ咲線 桜島駅 2番のりば 2号車 車椅子・ベビーカースペース最寄り乗降口

検証内容：① 屋外条件、実際のホーム環境での動作安定性の確認

② 本装置をご利用いただいたお客様の利便性

### 3. 導入による効果

車椅子やベビーカー等をご利用のお客様の安心と利便性向上をサポート

今回のご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番、17番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

